

# 専門研修カリキュラムの検討について (地域子育て支援拠点事業)

※ 渡辺構成員作成資料



## <研修の目的>

地域子育て支援拠点事業に従事する職員に必要な基礎的な知識や技術等について習得し、事業に従事する職員としての資質の確保を目的とする。

## <科目の考え方>

地域子育て支援拠点事業に従事する職員には、

- ・子育て中の親等の良き相談相手であること、
- ・利用者同士の紹介や交流の促進を行うこと、
- ・地域にある子育て資源との連携づくり及びその促進すること、

などの役割が求められることから、相談対応にかかる技術や他の職員や他の関係機関との連携方法等にかかる知識や技術等の習得を図る。

## <検討点>

- ・各自治体で実施している（多くの自治体が委託している）研修内容を踏まえ、共通研修に入っていない研修内容を専門研修として位置づけ。
- ・同じ「地域子育て支援コース」の利用者支援事業の研修カリキュラムとの整合性をとることが必要。

# 専門研修カリキュラム（地域子育て支援拠点事業）について

科目	内容	時間数
① 【講義】 地域子育て支援拠点を全体像で捉えるための科目		60分
(1) 地域子育て支援拠点の制度上の位置づけと成立	関連制度、地域子育て支援拠点事業の経緯	
(2) 地域子育て支援拠点に求められる機能	基本4事業の解説、予防型支援の必要性	
(3) 地域子育て支援拠点における支援者の役割	支援者の役割について	
② 【演習】 利用者理解	利用者理解を深める演習	60分
③ 【講義】 地域子育て支援拠点の活動		60分
(1) 子どもの発達を意識した環境づくり	発達の基本、子どもの遊び、他者との関わり	
(2) 子どもの発達を促す環境づくりの工夫	具体的な環境づくり	
(3) 利用者ニーズに配慮したプログラム	利用者ニーズに配慮したプログラムの実際	
④ 【演習】 プログラムづくり	具体的なプログラムづくり(グループワーク)	60分
⑤ 【演習】 事例検討	事例にもとづく検討(グループワーク)	60分
⑥ 【講義】 地域資源の連携づくりと促進	多様な地域資源の理解、連携づくりの促進	60分

<合計 360分(6時間)>

# (参考) 子育て支援員（仮称）研修制度の基本研修カリキュラム案について

## ・第3回子育て支援員（仮称）研修制度において提示した基本研修カリキュラム案

科目	内容	時間数
1. 専門的な知識を全体像で捉えるための科目		
①	【講義】 子ども・子育て家庭の現状 子どもの育つ社会・環境、子育て家庭の変容、ワーク・ライフ・バランス	60分
②	【講義】 子ども家庭福祉 子ども・子育て支援新制度の概要、子ども家庭福祉施策の理解 子ども家庭福祉に係る資源の理解	90分
2. 事業特性に応じた知識を理解するための科目		
③	【講義】 子どもの発達 発達の理解、発達への援助、胎児期から青年期までの発達、子どもの遊び	60分
	子育て支援員の役割と倫理	
④	【講義】 保育の原理 発達・成長の保障、情緒の安定、生命の保持	60分
⑤	【講義】 対人援助の価値と倫理 保護者・職場内・他組織との連携・協力、守秘義務・個人情報保護、 子どもの最善の利益、利用者主体、対象者の尊厳の遵守	60分
3. 専門研修の内容を理解するための科目		
⑥	【講義】 子ども虐待と社会的養護 子どもの虐待と影響、虐待の発見と通告、虐待を受けた子どもに見られる行動、 子どもの権利を守る関わり、社会的養護の現状	90分
⑦	【講義】 子どもの障害 障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む)、 障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携、障害児支援サービス等の理 解	60分
4. 子どもの安全確保		
⑧	【講義】 緊急時の対応 子どもの事故と予防、子どもの疾病、緊急時の対応	60分

<合計 540分(9時間)>

※ 以上の案は第3回検討会に示した素案。第3回の議論を踏まえ、第4回の検討会において修正あり。

# (参考) 各自治体における地域子育て支援拠点事業の従事者への研修の実施状況について

## ・ひろば全協が実施している研修内容の構成

科目	内容	時間数
① 【講義】 子ども家庭支援における基本的視点		60分
(1) 地域子育て支援拠点とは	事業設立の経緯、設置者、設置場所の多様性	
(2) 子育て・子育てをとりまく社会の様相	家庭を取り巻く社会の課題、ワークライフバランス	
(3) 幼児期の子育て支援の必要性	乳幼児期の発達、家庭での子育てへの理解	
② 【演習】 支援者としての自己覚知と利用者理解	自己覚知と利用者理解を深める演習	60分
③ 【講義】 地域子育て支援拠点の基礎・制度		60分
(1) 地域子育て支援拠点の制度上の位置づけと成り立ち	関連制度、拠点事業の経緯	
(2) 地域子育て支援拠点に求められる機能	基本4事業の解説	
(3) 地域子育て支援拠点における支援者の役割	支援者の役割について	
④ 【演習】 支援者の役割 ロールプレイ	温かく迎え入れる ロールプレイ	60分
⑤ 【講義】 地域子育て支援拠点の活動		40分
(1) 子どもの発達を意識した環境づくり	発達の基本、子どもの遊び、他者との関わり	
(2) 子どもの発達を促す環境づくりの工夫	環境づくりの実際	
(3) 利用者ニーズに配慮したプログラム	利用者ニーズに配慮したプログラムの実際	
⑥ 【演習】 プログラムづくり	具体的なプログラムづくり(グループワーク)	60分
⑦ 【講義】 地域の多様な子ども家庭支援		40分
(1) 多様化する子ども・子育て支援	幼稚園、保育所以外の支援の多様化、広がり	
(2) 子ども・子育て支援サービスの概要	子ども・子育て支援サービスの理解	
⑧ 【演習】 事例検討	事例に基づく検討(グループワーク)	70分

※ 上記、研修カリキュラムの提供等奥山構成員にもご協力頂き、本資料を作成。

<合計 450分(7.5時間)> 4

・北海道社協 地域子育て支援拠点事業職員研修要綱

科目	内容	時間数
【講義】 親子関係を育む支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩む母親への支援</li> <li>・子どもの問題行動への対処方法</li> <li>・親子のコミュニケーションへの支援</li> <li>・虐待予防の視点からの支援</li> </ul>	150分
【講義・討議】 地域子育て支援拠点に求められる役割と支援のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援拠点の概要</li> <li>・地域子育て支援拠点を取り巻く状況と課題</li> <li>・子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援拠点の役割</li> <li>・各拠点の活動内容についての情報交換と抱えている課題についての検討</li> </ul>	180分

<合計 330分(5.5時間)>

・福島県地域子育て支援拠点事業従事者のための基礎研修

科目	内容	時間数
【講義】 地域子育て支援とは 子育て支援をめぐる政策・制度の動向 【グループワーク】 テキストの振り返り	—	120分
【講義】 子育て支援における基本的視点 支援者の役割 【グループワーク】 テキストの振り返り	—	190分
まとめ(全体総括)	—	30分

<合計 340分(5時間40分)>

・岡山県 地域子育て支援拠点等 従事者養成講座（基礎研修）

科目	内容	時間数
<b>【講義】</b> ①地域子育て支援のあゆみと現在 ②地域子育て支援の視点と倫理	①現代の子育て環境について考え、地域子育て支援拠点の必要性を考える。(専①) ②地域子育て支援が親子の育ちにつながるために支援の視点を検討し、支援の倫理を学ぶ。(専①)	180分
<b>【講義】</b> ③子どもの発達を踏まえた子育ての環境	③子どもの発達の理解し、それをふまえた環境づくりについて考える。 プログラムとノンプログラムのメリット・デメリットについて事例をもとに考える。 (基③)	180分
<b>【講義】</b> ④親の育ちを支える環境づくり ～エンパワーメントについて考える～ ⑤親子の育ちを支えるスタッフのコンピテンシー	④親の育ちを支えるとはどういうことか、また育ちを支える環境づくりと支援のプロセスについて考える。(基⑤) ⑤支援の展開について学び、より良い支援のためのスタッフのコンピテンシー(行動特性)を考える。(専②)	180分
<b>【講義】</b> ⑥ネットワークづくりとコミュニティの再構築 <b>【ワークショップ】</b> ⑦これからの地域子育て支援拠点	⑥様々な社会資源と連携し、地域の子育て力を回復させる役割について考える。(専③) ⑦これからの地域子育て支援拠点事業の発展方向を検討し、課題を明らかにする。 (専④)	210分

<合計 750分(12.5時間)>